

〔論文〕

## (2) 逢妻地区コミュニティ会議（豊田市）の組織と活動

中島豊雄・中田 実

### 1. 活動の概況：「逢妻女川の地域資源を生かした文化・社会活動」

逢妻地区コミュニティ会議は、昭和 55 年 5 月に逢妻公民館が建設されるとともに、それまでの朝日丘地区から独立し、以来 20 年の歴史を歩んできた。

豊田市では、戦後のトヨタ自動車を中心とする輸送機器産業の急激な拡大により、大量の労働力を外部から調達し、そのため、市人口の過半数が来住人口という状況となり、コミュニティづくりの必要に迫られることになった。豊田市には、従来から自治区（以前は行政区と呼ばれていた）という伝統的組織があったが、転入者の受入れのためには新たな革袋を用意する方がよいという判断もあってか、市立公民館を軸とする中学校区を単位に、全市一斉に「地区コミュニティ会議」を組織した。それは昭和 53 年のことであった。全市 11 地区でスタートし、順次数をふやしていった地区コミュニティ会議であったが、中学校区という点で広域であったこと、その区域にはすでに自治区をはじめとして各種の住民団体があって活動しているため、地区コミュニティ会議には、新たな活動を展開するというより既存組織と競合しないことが求められて、住民諸団体間の「連絡調整」と「話し合い」を中心とすることに機能が限られる傾向にあった。また、昭和 55 年以降、盆踊

りや各種スポーツ大会など、文化、レクリエーション等の「ふれあい活動」を中心とした事業が展開されるようになったが、この場合も、参加者は全住民というより各自治区の役員層が中心で、かれらの負担過重との批判が出るようになった。そこで昭和 61 年になって、市は自治区長会と協議の上、コミュニティ事業の対象エリアの見直しを行った。それにより、望ましいコミュニティ単位として自治区が注目され、「自治区コミュニティ構想」が提起された。それとともに、活動の中身も、それまでのイベント中心の「ふれあい活動」から、地域課題の解決という実質的なものに転換していくことが奨励された。平成 2 年度からは「自治区コミュニティ活動推進特別交付金」制度が、そして平成 4 年度からは「自治区コミュニティ推進交付金」制度が設けられて、ゴミ減量、地域福祉、防災、交通安全、広報紙の発行等への取り組みが進められた。自治区レベルの活動が推奨されたとはいえ、事業によって必要な場合には地区コミュニティ会議が取り組むことを排除するものではなく、その意味では、本市のコミュニティ活動の重層化とそれによる多彩な活動展開の可能性が開かれたといえる。

この転換の中で、逢妻地区のコミュニティ活動も飛躍的に発展していくことになるが、その契機となったのは、平成 3 年からはじめ

られた逢妻女川クリーン活動である。逢妻女川は地区内の8つの自治区にまたがって流下している。当初2年はこの8自治区でクリーン活動を行っていたが、平成5年からこれを地区コミュニティ会議の12自治区共同の事業とすることになり、いまでは毎年、2,500人～3,000人の住民が参加し、実施日には川をきれいにする活動のほかに、児童生徒によるコンサート、子供の写生大会、大人の写真コンテストなど多彩な活動が盛大に行われ、逢妻地区コミュニティ会議のビッグイベントになっている。要する経費（コミュニティ会議予算）は50万円前後である。

住民の憩いの場となる清流を守るためにはじまった活動であるが、もともとこの川は、水もきれいで水量も多く、灌漑用水であるだけでなく、かつては水車も回り、子どもの遊び場であり、洗濯場でもあったところである。水道の普及と下水道の整備でいつのまにか川は忘れ去られて汚染と荒廃がすすんだが、これを貴重な地域の資源として住民の憩いの場とすべく、その再生をコミュニティ会議が取り上げたのである。さらに注目すべきは、このクリーン活動が基盤となって、現在ではさまざまなコミュニティ活動が活発に展開されるようになってきたことである。つまり、逢妻地区コミュニティ会議は、逢妻女川という地域資源を有効に生かすことを通じて地域住民の活力を引き出し、連携を強め、その結集力を他の地域課題にも向けてその活動を総合的に展開することができるようになったのである。この取り組み成功の背景には光岡光明氏というすぐれたリーダーの存在があったが、その提案を支持した多くの住民や小中学校、そして公民館の協力も無視できない。また、

忘れ去られようとした逢妻女川の価値を引き出す点で、地元住民による地域の歴史や文化の発掘と精力的な出版活動への努力も、銘記しておくべきであろう。この過程で、『逢妻女川・むかしむかしあのね』（平成4年）、『逢妻の史跡』（平成9年）、『逢妻の昭和・あの日あのころあのね』（平成11年）が次々と出版されている。

こうした取り組みを可能にした条件を探ってみたい。

## 2. 地区のプロフィール

まず、この地区の概況と特徴を整理しておこう。

- (1) 名 称 逢妻地区コミュニティ会議
- (2) 事務所所在地 豊田市新田 1-178
- (3) 地域特性 新旧混住地区
- (4) 地区の概況

①人 口 26,703 人

②世 帯 10,280 世帯

③65 歳以上人口

2,061 人（男 937 人、女 1,124 人）

④子供（中学生以下）

4,698 人（男 2,362 人、女 2,336 人）

地区人口は 26,703 人であるが、男は 20 歳代が最も多く、ついで 40 歳代、女は 10 歳代後半から 20 歳代前半が最も多く、ついで 40 歳代が多い。65 歳以上の高齢者の割合は 7.7 %、中学生以下の子供の割合は 17.6 %で、若いまちである。

- (5) 公共施設

①公民館 1（逢妻公民館）

②区民会館・公会堂 8

（宮口上、宮口一色、本地新田、本地、深田山、千足、広久手、宮口新田）

③学校

小清水小学校・美山小学校、逢妻中学校、  
愛知学泉大学

④幼稚園・保育園

宮口幼稚園・美山幼稚園、浄光保育園

⑤その他の公共施設

西部コミュニティセンター、公設地方卸  
売市場、他

(6) 逢妻コミュニティ地区内の自治区

豊田市は現在、全市が 20 のコミュニティ地区に分けられており、逢妻地区は市の西部に位置し、逢妻女川をはさむ水田よりなる低地と、その両端に迫る里山および等高線にそって展開する民家群や工場、点在する商店からなる、田園的景観を残す地域である。平成 11 年になって、人口規模では市内最大のコミュニティ地区となっている。

逢妻地区は、昭和 55 年までは 11、昭和 56

年以降は広久手町を加えて 12 の自治区から構成されている。地区名と加入世帯数の推移は以下のものであった。

最大自治区は 2,745 世帯の深田山で、1,000 世帯以上の自治区が 3 つ、最小自治区は 97 世帯の美山町で、最大自治区と最小自治区の世帯数の差はきわめて大きい。全体としてみれば、逢妻地区は新しい住民が徐々に増えてきたので、新旧住民は良好な関係を維持しているというが、最近の 10 年でもかなりの人口流動が認められる。

逢妻地区コミュニティ会議の事務局は公民館に置かれ、公民館がコミュニティ活動の拠点として位置づけられている。公民館とコミュニティ会議の諸事業は連携が図られ、このことが逢妻地区コミュニティ会議の活動を支える大きな力の 1 つとなっている。

表 1 逢妻コミュニティの自治区名と世帯数の推移

	平成 1	平成 4	平成 9	平成 11	増加率平成 11/1
宮口上	820	1425	1428	1422	1.73
宮口一色	522	553	565	568	1.09
宮口新田	470	480	565	570	1.21
本地新田	610	680	780	780	1.28
千足	462	455	503	525	1.14
本地	600	900	1078	1119	1.87
深田山	1810	2010	2415	2745	1.52
美山町	88	80	77	79	0.9
広久手	380	318	217	213	0.56
広久手町	316	342	420	476	1.51
田中第 1	180	180	200	153	0.85
田中第 2	175	190	174	150	0.86
計	6433	7613	8420	8800	1.37

\* 田中第 1、同第 2 は雇用促進事業団の団地である。

### 3. コミュニティ組織編成の特徴

#### (1) 推進組織の特徴

逢妻地区コミュニティ会議は、いわゆる「全世帯加入型」である。原則として全世帯加入となっているが、平成10年度の決算書によれば、年額100円の会費納入世帯の割合（納入率）は84.9%である。逢妻地区は12自治区に分けられ、自治区が逢妻地区コミュニティ会議の基礎単位となっている。

#### (2) 推進組織の編成

##### 1) 組織構成

- ①逢妻地区区長および12自治区区長
- ②各種団体等の代表者

婦人会、老人会、子供会、PTA、学校、交通安全推進協議会、民生委員、保護司会、体育指導委員、青少年補導員

逢妻地区コミュニティ会議は、以上の各組織・団体の代表者によって構成されている。

##### 2) 役員

役員は会長1名、副会長3名、書記1名、会計1名、会計監査2名で構成されている。役員は総務会（定員40名、平成11年度は29名で構成）において選出され、任期は1年であるが、再任が認められている。会長には、逢妻地区区長が選ばれる。

逢妻地区コミュニティ会議会長は、平成10年度までは地区区長と別個に選出されていたが、平成11年度は地区区長がコミュニティ会議会長を兼ねることになり、両組織は良好な関係がつけられやすくなった。

3) 逢妻地区コミュニティ会議の組織は、総務部と企画部に大別され、企画部のもとに、以下の6つの常設委員会が置かれている。

（ ）内は平成11年度の委員数。

- ①広報委員会（13）
- ②青少年育成委員会（26）
- ③地域福祉推進委員会（30）
- ④環境・交通委員会（26）
- ⑤のどかさまちづくり委員会（18）
- ⑥スポーツ推進委員会（20）

以上のほかに、次の3つの実行委員会が置かれている。

- ①新成人を祝う会実行委員会
- ②クリーン活動実行委員会
- ③ふれあいまつり実行委員会

各委員会について若干の説明を加えると、以下のようである。

##### ③地域福祉推進委員会

一般家庭介護セミナー（7～8月、6回）福祉シンポジウム（10月）「家庭でできる看護」を開催。ゆうあい活動として、小学生が一人暮らしの高齢者に書いた50枚の葉書をコミュニティ会議が仲介して発送した。

##### ④環境・交通委員会

環境・美化運動は犬のフンの始末が発端であったが、いまではゴミと空き缶のポイ捨て防止に発展している。手作りの看板で犬のフンの始末への協力呼びかけ、住民はビニール袋をもっていないと“恥ずかしい”と思う意識がめばえてきた。他に空き缶拾い等環境美化運動（春秋2回）、各自治区ゴミステーション見学会（5月）、逢妻女川ふれあい花壇管理（年間）等を行っている。

##### ⑤のどかさまちづくり委員会

市長の提唱により市内7地区を選んでのモデル事業として3年前にはじまった。当初は予算なしの活動だったが、平成11年度から正式発足した。企業と地域、行政が一体となってコミュニティ活動をすすめて

いる三島市と交流した。逢妻女川に親しんでもらうための「野草を食べる会」というユニークな活動も展開された。

#### ⑥スポーツ推進委員会

体育指導員を軸にした活動で、ソフトボール大会、ウォーキング大会、マレットゴルフ大会を実施している。参加者が子ども、高齢者に偏っている。父ちゃん、母ちゃんの参加が少ない。若者、壮年者の参加を呼びかけるが成果が上がっていない。

以上のように、逢妻地区コミュニティ会議は6つの常設委員会と3つの実行委員会が中心となってコミュニティ活動を推進している。

以上の諸事業の企画、予算の検討など、本コミュニティ会議の中心に位置するのが企画部である。企画部は、会長、副会長、総務部長、各委員会の委員長によって構成され、逢妻地区コミュニティ会議に指導的役割を担っている。

総務会は年1回開催される。

#### (3) その他の特徴（公民館、小学校との連携）

平成11年度は逢妻地区区長がコミュニティ会議の代表者を兼ねることになり、両者は一層良好な関係を維持できるようになった。コミュニティ会議の事務局は公民館に置かれ、公民館の館長や職員がコミュニティ会議に一層協力しやすい状況が生まれてきており、これが逢妻地区コミュニティ会議の活動を促進する力となっている。また、公民館との共催事業を積極的にすすめていることも逢妻地区コミュニティ会議の特徴のひとつである。

## 4. 主要な活動の内容

### (1) 逢妻女川クリーン活動

住民の憩いの場である清流をとりもどすた

めに始められた活動であり、地域住民が逢妻女川に親しむとともにふれあいを高めることを目的にしている。

1つの自治区が川を愛そう、川をきれいにしようと立ち上がったのが発端となって、川に沿っている他の自治区に呼びかけ、クリーン活動に参加する自治区が拡大していった。女川は5kmにわたって逢妻地区を流れており、川をきれいに保つためには1つの自治区内でおさまらない広域活動が不可欠であった。現在では、女川の堤防を約500m～700mに区分し、各自治区が分担してクリーン活動に参加している。各自治区ごとの責任体制を明確にしたことが自治区の主体的活動を強化した。毎年9月の第2土曜日に実施しているが、当日は草刈り、川の掃除などのクリーン活動のほかに、モーニングレストランが開かれたり、写真コンテスト、コンサート、花壇種まき、子供写生大会等の多彩な行事があり、幼稚園から小、中、高、大学までの児童、生徒、学生も参加する最大のイベントである。当初には水質検査も住民の力で行っていたが、現在は無い。

実施にあたっては、

◇開会式、閉会式は行わない。

◇政治的なかわりをさけるために来賓のあいさつは受けない。

◇実施日は共通の日を指定するが草刈りや清掃時間など細かなことは各自治区にまかせる。

◇クリーン活動は1時間から1時間30分で終了する、  
などに配慮している。

(2) 逢妻ふれあいまつり

コミュニティ会議と公民館・同自主グループで実施するもので、以前は公民館祭と呼んでいた。平成11年度（第20回）は「ハートフル逢妻」と名づけて10月3日に、公民館を会場にして開催された。約300名が参加し、芸能・展示発表、バザー等をとおして住民間の交流を深めた。逢妻女川にかんする絵画、写真展がなされ、お手玉・ゲーム大会、おもちゃ図書館、ウォーキングも行われた。なお、公民館の自主グループは51団体に及んでいる。

(3) その他の主な諸活動（平成11年度）

総務会が愛知学泉大学と協力して企画した愛知学泉コミュニティ政策学部との交流会（9月）は、昨年度に続き2回目である。

青少年育成委員会は社会を明るくする運動（7月）、逢妻女川魚釣り大会（9月）、オリエンテーリング（11月）、年末愛のパトロール（12月）等に取り組んでいる。

公民館では、「地域の子は地域で育てる」、「大豆づくりは人づくり」を合言葉に、農家と農協の協力のもと、大豆の栽培・収穫、豆腐・味噌づくりに取り組んでいる。

## 5. 活動維持のための工夫

(1) ニュースの発行

コミュニティ会議のニュースは、「逢妻」の名称で年6回発行され、全戸に配布されている。発行主体は、逢妻地区コミュニティ会議と公民館であり、両者の協力体制が確立されている。なお、広報委員は従来から置いていたが、会長指名の形のもので正規の委員会ではなかった。平成11年度からこれも委員会

として確立させている。同年6月1日発行の「逢妻」のNO. 31号には、公民館職員が紹介されており、コミュニティ会議と公民館の密接な関係がうかがわれる。また、各自治区は年4回以上のコミュニティペーパーを発行している。

(2) 行政とのパートナーシップ

コミュニティ会議会長が地区区長から選ばれることから、行政との関係は良好である。たとえば、豊田市のまちづくり懇談会に参加したり、行事の講師を依頼したり、助成金などの面で行政と協力関係を強めている。地区区長とコミュニティ会議会長が同一者であることですべてがうまくいっているわけではない。コミュニティ会議は行政から独立していることが必要であり、地区区長の役職にあることがコミュニティ会議の活動を制約したり、不都合が生ずることもある。しかし、全般的にみれば、地区区長がコミュニティ会議会長を兼ねていることがコミュニティ活動にプラスになっていると思われる。

(3) 資金の確保

平成11年度の予算額は1,942,854円であり、その半分の890,000円が地元分担金として、各戸年額100円の会費でまかなわれている。その他、主な収入は市補助金380,000円、報奨金250,000円、社会福祉協議会補助金150,000円等である。

以上を整理して表示すると、表2のようである。

## 6. おわりに

逢妻地区は、住民の思いやりのある地区づくり、具体的には日ごろのあいさつ、笑顔のある人、めぐまれている自然との共生、新し

表2 逢妻コミュニティ地区年度別概要

年 度	人 口	世 帯	事業予算額	内市補助金	内地元負担金	会長名	部会数
昭和 55 年度	22675	9721	300,000	100,000		光岡光明	3
56 年度	21455	8416	2,889,799	1,096,000	689,000	同	3
57 年度	21382	8084	1,974,010	1,112,000	840,000	同	4
58 年度	21558	6000	1,914,213	1,112,000	780,000	中山三郎	4
59 年度	23252	9292	2,331,273	1,110,000	1,183,000	神谷幸男	5
60 年度	22578	6008	4,905,791	1,142,000	1,201,600	加藤俊一	6
61 年度	23130	6456	2,599,497	1,212,000	1,237,600	須田豊治	6
62 年度	23334	* 6209	2,668,201	1,243,000	1,291,200	岡部 洋	6
63 年度	23613	6284	2,662,467	1,246,000	1,256,800	宮田 武	6
64 年度	24008	6433	2,762,627	1,325,000	1,286,600	鈴木清巳	6
平成 2 年度	24192	6835	2,943,396	1,350,000	1,367,000	深田泰弘	6
3 年度	24684	7492	3,003,918	1,389,000	1,498,400	宇野 釗	4
4 年度	25285	7600	2,956,847	1,210,000	1,520,000	松永三十三	4
5 年度	25865	7736	2,983,285	1,210,000	1,547,200	光岡光明	4
6 年度	26105	7891	2,232,473	380,000	1,586,800	同	4
7 年度	26038	7890	1,428,966	380,000		板倉孝男	4
8 年度	25921	8213	1,662,587	380,000		同	4
9 年度	25867	8418	1,657,973	380,000	842,000	光岡光明	4
10 年度	26506	8723	1,742,414	380,000		同	4
11 年度	26703		1,942,854	380,000		同	4

\*宮口上自治区の一部が崇化館地区に編入された。

出典 豊田市地区コミュニティ会議設置状況（各年度版）より作成。

豊田市は、昭和 53 年度から、中学校区を単位とする地区コミュニティ会議の制度を発足させた。当初の地区会議数は 11（中学校数は 14）で、逢妻中学地区は朝日丘中学とともに「朝日丘地区コミュニティ会議」に属していた。ちなみに、当時の小学校数は 45、自治区数は 194 であった。逢妻地区がコミュニティ会議として独立したのは、逢妻公民館が建設された 55 年 5 月であった。それ以来の逢妻地区コミュニティの状況は表 1、表 2 のとおりである。

部会等の設置状況を見ると、昭和 53 年度の「朝日丘地区コミュニティ会議」時代には、機能別でなく幼保部会、小中部会、子供部会、婦老部会という属性別組織であったが、55 年に独立すると、青少年健全育成、スポーツ、文化の 3 部会を設置している。その後、57 年度に広報部会、59 年度に交通安全部会、60 年度に福祉部会が設置されて 6 部会制をとってきたが、平成 3 年度に自治区コミュニティとの重層制が実施されるとともに部会も再編され、地区コミュニティ会議は委員会制をとることになり、従来の青少年健全育成、スポーツ、文化、広報部会の 4 部会が青少年育成、スポーツ文化、広報の 3 つの委員会となり、これに企画部が加わった 1 部 3 委員会制がとられるようになった。5 年には「逢妻女川クリーン活動実行委員会」がコミュニティ会議内の組織として発足し、活動を開始した。ついで 6 年度にはスポーツ文化、広報の 2 委員会がなくなり、代わりに地域福祉推進委員会と環境交通委員会が設置された。11 年度には、個人的に委嘱されて活動していた広報部門が再度委員会化され、他にのどかさまづくり委員会とスポーツ推進委員会が置かれた。

市補助金は、一般事業補助金は二分の 1 補助、事務補助金、非行防止補助金、社会福祉協議会補助金は 100 % 補助、委託金は成人式費用（昭和 62 ～ 64）である。

い住民の交流ができるコミュニティづくりをめざしており、ハード面では運動場と体育館の整備が課題となっている。

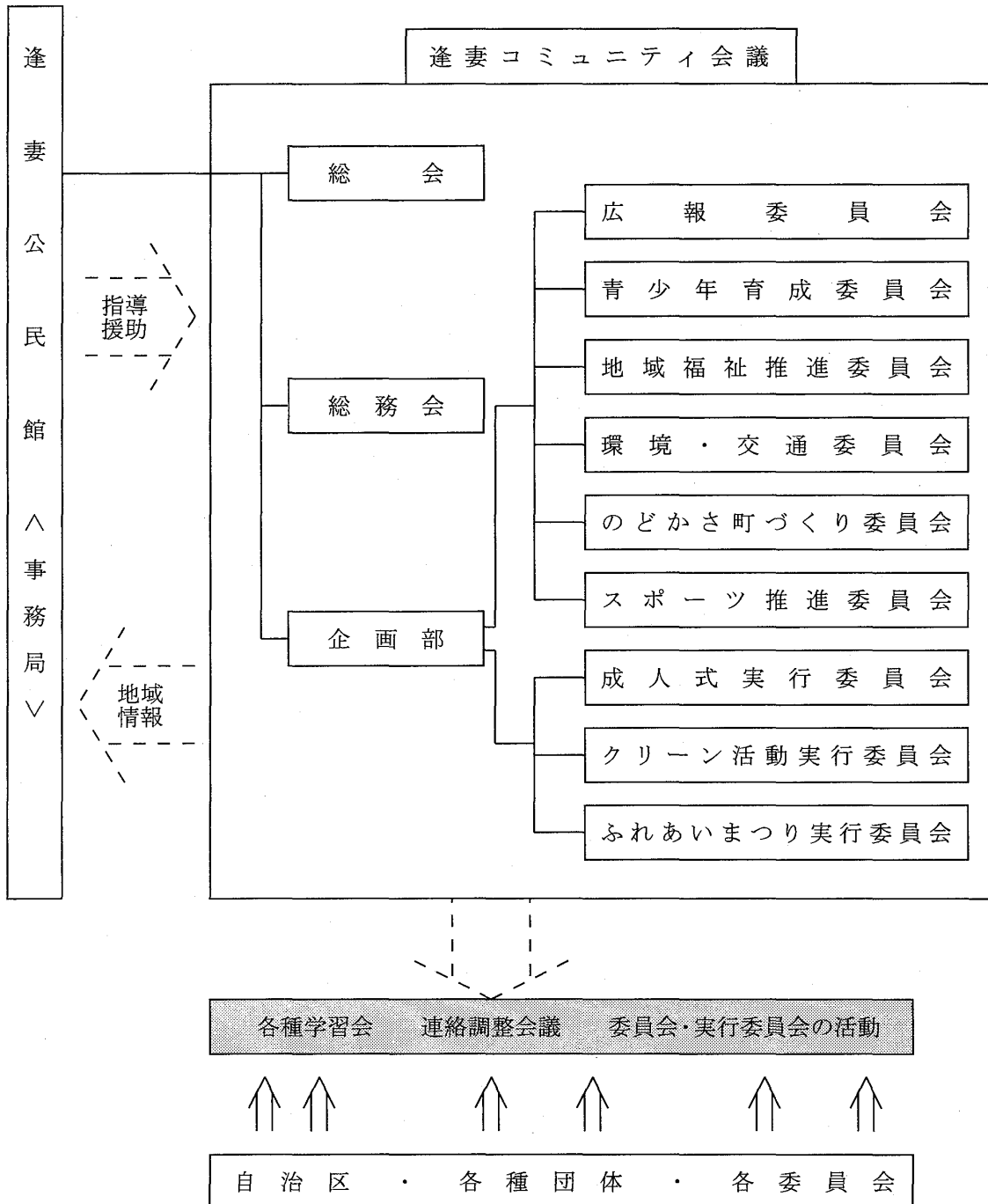
このコミュニティの発展過程を見ると、現会長の光岡光明氏の影響力が大きく、氏は20年間のうち延べ8年にわたって、民主的で経験豊富な会長として会の運営に当たられたこと、この間の諸会長、役員のもと、住民がよく協力し、各自の特技を生かし、自発性を発揮してまちづくりの事業に参加されたこと、リーダーの継続性がコミュニティ活動の発展にきわめて有効に作用したこと、活動の拠点としての公民館が比較的自由に使用できること、以前は公民館とコミュニティ会議は別のものという意識があったが、現在ではそれが解消され、コミュニティ会議会長と公民館の関係がうまくいっていることなど、コミュニティ活動をすすめるための条件が一層充実してきている。

これらが本コミュニティ会議の活動を市内で有数のものに導き、なお発展充実期にあるとの印象をもたせてくれた。



添付資料① コミュニティ会議の組織図

逢妻地区コミュニティ会議の組織 平成11年度



## 添付資料② 平成11年度事業計画

## 平成11年度逢妻コミュニティ会議事業計画(案)

委員会名	事業名	日時	内 容	参加者人数
総 務 会	総 会	5 / 16	コミュニティ会議運営等	160
	研 修 会	7 / 3	まちづくり研修会(三島市)	50
		9 / 18	愛知学泉大学コミュニティ政策学部との交流	50
企 画 部 会	部 会	月 1 回	コミュニティ会議事業の企画、予算審議、連絡調整	21
青少年育成委員会	健全育成事業	7 月	社会を明るくする運動	250
	〃	9 月	逢妻女川魚釣大会	50
	〃	11 月	オリエンテーリング	250
	非行防止活動	12 月	年末愛のパトロール	40
	〃	2 月	非行防止啓発看板設置、補修	20
	健全育成事業	3 月	ジュニアリーダー育成者懇談会	25
地域福祉推進委員会	交 流 事 業		奉仕活動	25
	研 修 事 業		家庭看護法講習会	延べ 150
	世代間交流事業	10 月	ふれあい祭参加	
	研 修 事 業		福祉講演会	100
環境交通委員会	研 修 事 業	春・秋 2 回	空き缶拾い等環境美化活動	延べ 100
	〃	5・7 月	ゴミ問題勉強会、懇談会	延べ 150
	〃	5 月	各自治区ゴミステーション見学	
	〃	年間	女川ふれあい花壇管理	延べ 100
	〃		迷いやすい資源ゴミ分別表製作	延べ 50
	〃		看板製作	
	交 流 事 業	10 月	ふれあい祭参加	100
のどかさまちづくり委員会	交 流 事 業	5 月	野草を食べる会	30
	研 修 事 業	7 月	講演会	60
	〃	9 月	先進地視察	20
	交 流 事 業	10 月	ふれあい祭参加	100
	推 進 事 業	11 月	オリエンテーリング	50
広報委員会	ふれあいだより発行	奇数月年 6 回	広報“逢妻”発行	延べ 120
スポーツ推進委員会	スポーツ推進事業	年 2 回	ソフトバレーボール大会	延べ 150
		年 1 回	ウォーキング大会	50
		1 回	マレットゴルフ大会	50
逢妻女川クリーン活動実行委員会	ク リ ー ン 活 動	9 / 11	草刈り、空き缶拾い	2500
ふれあいまつり実行委員会	地域ふれあい交流	10 / 2, 3	芸能・展示発表、バザー等を通し地域交流	300
新成人を祝う会実行委員会	新成人を祝う会	1 / 9	式典、ふれあい事業	400

添付資料③ 平成 11 年度予算

平成 11 年度 逢妻地区コミュニティ会議事業予算

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	説 明
前 年 度 繰 越 し 金	272,754	53,575	
補 助 金	380,000	380,000	
社会福祉協議会補助金	150,000	150,000	100 %補助
地 元 負 担 金	890,000	872,300	100 円×8,900 戸
雑 収 入	100	100	受取利息
報 奨 金	250,000	286,439	県土木より見込み
計	1,942,854	1,742,414	

支出の部

項 目	本年度予算額	前年度予算額	説 明
総 務 費	(80,000) 260,000	170,000	
企 画 部 会 議 費	50,000	180,000	
青 少 年 育 成 活 動 費	(70,000) 130,000	120,000	
地域福祉推進活動費	150,000	150,000	
環 境 交 通 活 動 費	(50,000) 270,000	270,000	
のどかさ町づくり推進活動費	(20,000) 85,000		平成 11 年度より
広 報 活 動 費	(60,000) 100,000		平成 11 年度より
逢妻女川クリーン活動費	(100,000) 500,000	536,439	
ふれあい祭活動費	120,000	120,000	
新成人を祝う会実行委員会費			(青少年女性課より)
スポーツ推進活動費	20,000	20,000	
太鼓等備品補修積立金	30,000	30,000	
事 務 費	50,000	40,000	
予 備 費	177,854	105,975	
計	(380,000) 1,942,854	1,742,414	

※ ( ) 内は市補助対象額です。